

【巻頭言】久留米大学教職課程年報 2022, 第6号

片岡靖子

(教職課程委員長・久留米大学文学部)

令和3年度の教育実習・教職課程運営委員会活動報告

令和3年度の教育実習では、新型コロナウイルス感染症への対応に尽力されている中で教育実習生をお引き受けいただき、幼稚園・小学校・中学校・高等学校の園長・校長先生をはじめ諸先生方に心より感謝いたします。教育実習では、諸先生方が、このコロナ禍においても園児・生徒の安全と教育の保障をしていこうとの諸先生方の姿勢に改めて教師としての姿勢のあり方について学ばせていただく機会となりました。

令和3年度の幼稚園・小学校・中学校・高等学校での教育実習履修者は、実人数170名(述べ187名)でした。また、免許申請数は延べ168件となりました。本学の教職課程履修生が無事に教育実習を終え、教員職員免許状を取得できましたのは、各園、各校のご協力とご指導があってからだと思っております。

さて、本学の令和3年度教職課程運営委員会の活動としましては、令和3年度九州地区私立大学教職課程研究連絡協議会への参加による教員養成、教育行政の動向について把握するとともに、九州地域における課題について共有を深めました。また、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、久留米市教育委員会との連携を強化し、本学の教職課程のあり方について協議を重ねてきました。学内においては、教職課程を履修する学生ボランティアへの積極的な参加を推進するなども行ってきました。

学内においては、教職希望の学生を対象に現職の校長先生をお招きし、教育の現場や生徒たちの現状、教師としての心構えなどのご講演をいただきました。さらに、教員採用試験合格者による在校生との交流なども行いました。早期より教職を目指すための準備や心構えなどを持てるようさまざまな活動を行っております。今後も教育現場の先生方からのご指導を受け、未来を担う子どもたちに貢献できる人材養成を目指してまいります。

最後に、教育実習をお引き受けいただいた幼稚園・小学校・中学校・高等学校の先生方、本学の教職課程をご担当いただいております先生方、久留米大学教職員の皆様、保健管理センタースタッフのご協力で本年度の教育実習を無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。